

## 新潟大学教育研究院自然科学系教員（栄養科学分野・助教）公募要項

1. 所 属 教育研究院自然科学系 農学系列
2. 担当学部・研究科 農学部 農学科 食品科学プログラム  
大学院自然科学研究科 生命・食料科学専攻
3. 担当予定科目 学部：食品科学概論、学生実験、食品科学演習、農学入門、食と健康の科学など（分担を含む）  
大学院：応用生命・食品科学演習、生命・食料科学特定研究など
4. 職 種・人 員 助教 1名（女性限定）
5. 採用予定日 令和2年3月1日以降の可能な限り早い日
6. 給 与 年俸制（国立大学法人新潟大学新年俸制教員給与規程による）。
7. 職務内容・条件 (1) 農学部および大学院自然科学研究科において、栄養科学に関する教育と研究を行う。学部と大学院の教育に情熱をもって取り組み、博士前期課程及び後期課程の学生指導補助ができること。  
(2) 栄養科学分野に関連したイノベーション創出を推進し、プロジェクト研究等を通じて地域連携や国際連携などに貢献できること。  
(3) 大学の運営に意欲をもって取り組むこと。  
(4) 若手研究者の応募を歓迎します。
8. 応 募 資 格 (1) 女性であること。  
※新潟大学では、男女共同参画およびダイバーシティの視点に立った教育・研究・就業環境の整備を推進しています。本公募では、男女雇用機会均等法第8条に則り、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した公募を実施します。  
(2) 博士の学位を有すること。なお、令和元年度に学位取得見込みの者を含む。  
(3) 栄養科学の関連分野において優れた研究業績があること。当該分野に関連する講義を担当でき、学生に分かりやすく教えることができること。
9. 応募書類(各1部) (1) 履歴書（様式は特に定めない）。ただし、連絡先、大学入学以降の学歴、職歴を記入し、顔写真を貼付すること。  
(2) 研究業績書（所定の様式）。著書、学位論文、学術論文[査読付き]、その他学術論文[査読無し]、特許、最近5年間の学会発表[国際・国内学会に区分]に区分。  
※研究業績書の様式は下記 URL よりダウンロード願います。  
<https://www.niigata-u.ac.jp/university/recruit/faculty-members/>  
(3) 主要論文5編以内 各2部（論文は別刷りないしコピー）。  
(4) 外部資金の獲得状況（科研費、その他競争的資金、受託研究など）について、それらの種目・種類、題目、代表・分担の別（分担の場合は研究代表者名と所属機関）、金額（分担の場合は分担額）をまとめたリスト（最近5年間分）。  
(5) これまでの教育研究概要、および採用された場合の教育・研究の抱負について、それぞれ2,000字程度にまとめたもの。卒業研究などの指導経験がある場合は、これまでの指導実績（実質的に指導した卒業論文、修士・博士論文の題名等）のリスト。  
(6) 学会活動、地域連携、国際連携などの社会貢献に関わる実績をまとめたもの。  
(7) 応募者について照会可能な2名の方の氏名と連絡先を明記。  
(備考) 応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守します。また、本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報、「独立行政法人等の所有する個人情報の保護に関する法律」に基づき適正に管理します。
10. 応 募 の 締 切 令和元年12月16日（月）必着
11. 選 考 方 法 応募書類による選考を行い、最終選考で面接を行う（旅費は支給しません）。

12. 提出書類の送付及び問い合わせ先
- (1) 送付先  
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地  
新潟大学自然科学系総務課学系庶務係  
(封筒の表に「農学系列、栄養科学分野教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留郵便で送付のこと)
- (2) 問い合わせ先  
新潟大学農学部 教授 西海 理之  
TEL/FAX 025-262-6663、E-mail: riesan@agr.niigata-u.ac.jp
- ※新潟大学農学部・大学院自然科学研究科の活動内容については、それぞれのホームページ (<https://www.agr.niigata-u.ac.jp> および <http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/index.html>) を参照して下さい。
- ※新潟大学では、男女共同参画室 (<http://www.niigata-u.ac.jp/geo/>) を設置して、女性研究者の支援を推進しています。
- ※新潟大学では、キャンパス・グローバリゼーションの実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しています。教員公募においても、多様な言語を母語とする学生、研究者との日本語、英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。